二〇七四年十二月十五日

「今年の漢字」が発表された。シンジョーが予想したとおり「数」になった。理由はいくつかあるが、主なものは三つである。

一つ目が「数学ブーム」。S盤や計算なわとび、図形パウル番組の大ヒットなどなど、数学をやることが大人も子供も大ブームとなった一年だった。

二つ目が映画「数」の大ヒット。マンガで話題になった「数」は、アニメ化され、後に映画化され、今年最高のヒット映画となった。

火星に住む「数」という名の少年の話だ。学校でも子供たちがよく話をしていた。

そして三つ目の理由が「数々の」という言葉が流行したからだ。これは、ある政治家が事件を起こした時の記者会見で「数々の」という言葉を連発したことから、真似する人が増えたのだ。もちろん、あまり良い使い方ではないが、「数々アイス」や「数々Tシャツ」「数々の思い出アルバム」などなどは、ヒット商品にもなった。

この今年の漢字の発表を、シンジョーも気

になっていた。百周年を記念して、全校児童に「今年の〇〇」を考えさせて、提出させたからだ。シンジョーが子供たちに考えさえた「今年」は次の七つである。

・今年の漢字
・今年のひらがな
・今年のローマ字
・今年の色
・今年の人
・今年の音
・今年の食べ物

この中から最低一つを考えて、提出する。

校長から課題が出ることはそれほどないので、ほとんどの子は二、三考えて、提出してくれた。その順位が、昨日出たばかりであった。シンジョーは、これを学校通信として、今日、保護者や地域に発信する予定である。

扇小の「今年の」結果は次のようになった。

扇小学校が選んだ「今年の漢字」

一位　百（百周年、百点）
二位　扇（扇小百年、扇のような年）
三位　緑（きれいな木が増えた）

＊（　）内は主な理由

扇小学校が選んだ「今年のひらがな」

一位　ら（らんらん、ららら）

二位　お（扇小、驚いた、応援）

三位　わ（歓声、喜び、驚き）

扇小学校が選んだ「今年のローマ字」

一位　V（市内体育祭優勝）

二位　S（スペシャル、S盤）

三位　O（扇小、OK、大きな年）

扇小学校が選んだ今年の色

一位　緑（木がきれい、扇の色）

二位　ばら色（扇小の未来）

三位　白（運動会で白組優勝）

扇小学校が選んだ今年の人

一位　オオタニさん（話してくれた）

二位　数（ブーム、校庭に絵を書いた）

三位　ジャスティス（「昔の学校の計画委員ズ」のボーカル、扇小の卒業生、大人気）

扇小学校が選んだ今年の音

一位　パチパチ（S盤の音）

二位　新しいチャイム（世界に一つだけの花）

三位　バシッ（オオタニさんが五十年前にく

れたグローブでボールを取った音）

扇小学校が選んだ「今年の食べ物」

一位　茶っ(ちゃ)プリン

二位　鬼(おに)ぎり系(けい)ラーメン

三位　ピラフうどん

＊どれも今年ブームになった給食にも出た

一年生から六年生までよく考えてくれたと、シンジョーは感心(かんしん)した。そして嬉(うれ)しかった。たくさんの子が参加(さんか)してくれたことの他(ほか)に、このアンケートで、嬉しいことがもう一つあった。それは、「今年の人」として、九月から扇小の校長になったシンジョーの名前をたくさんの子が書いてくれたことだ。理由にも嬉しいことが書いてあった。

「百周年目に来た、もってる校長だから」

「いろんなことを変えてくれたから」

「オオタニさんの話を聞かせてくれたから」

「クラス会議で意見を言ってくれたから」

などなどである。その中でも、二年生のフミさんが書いた理由は、嬉しかったし、驚かされた。

「よく学校の校歌を歌っているから」

楽しいことがあるとつい校歌を口ずさんでしまうシンジョーを見ていた子がいたのだ。

本日発表された「今年の漢字」は「数」だったが、扇小の今年の漢字は「百」だ。百周年行事でやることもだいたい決まっている。楽しい企画ばかりである。最近は、三月のことを思うと、つい笑顔になってしまう。

ジンショーは、昇降口のモニターで示す、「今日の一言」に「数」と「百」を入れようと考えた。そして、次の言葉を打ち込んだ。

十二月十五日

数は無限に続く。

百の先にもずっと続く。

昇降口のモニターに映し出されたことを、確認したシンジョーは、今日も校歌を歌ってしまった。

大好きな　大好きな　この学校で

それは扇　扇　扇小学校

その声はいつもより大きかったかもしれない。